

レンサルティング®で時代を拓く

AKTIO

AKTIO

September
No.24

Communication Magazine

■ AKTIO TOPICS

過去最大規模の出展社数で開催!

建設・測量生産性向上展 CSPI-EXPO

Safety Training System VR of AKTIO

高速道路安全教育編、登場!

日建連表彰第1回土木賞、受賞!

KEY PERSON

に聞く

より、ワンストップの
レンサルティング®へ。

AKTIOの成長を牽引する
レンサルティング本部の「これから」。

より、ワンストップのレンタルティン[®]へ。 AKTIOの成長を牽引する レンタルティン[®]本部の「これから」。

単なるレンタルにとどまらず、お客様に寄り添い、ニーズに応える「レンタルティン[®]」という独自のコンサルティング型レンタルビジネスを展開してきたAKTIO。建設会社をはじめとしたカスタマーのニーズと、建設機械メーカーをはじめとしたサプライヤーのシーズを知り尽くし、多種多様な建設機械と膨大な建設機械の利用データを保有するAKTIOにしかできないビジネスモデルである。そのレンタルティン[®]をさらに進化させ、昨今の社会の状況に合わせたDX化の推進、グループ会社との強固な連携によりワンストップ化を目指すレンタルティン[®]本部の「これから」について、エンジニアリング事業部の幅広い取り組みの推進、名古屋支店開設・名古屋エリアの拡充に尽力した、レンタルティン[®]本部長である宗像国義常務執行役員に、当時のことを振り返りながら話を聞いた。

【エンジニアリング事業部】レンタルティン[®]を推進するための部署であり、トンネル・シールド関連・環境関連・通信計測関連などの機械を取り揃えています。様々な工法プランニングのお手伝いや機種を選定、商品開発などを行っています。



「宗像常務がこれまでに担ってきた業務について聞かせてください。」
入社は1982年、新入社員として、研修で茨城県鹿島の営業所に入りました。基本的な研修を鹿島で行い、エンジニアリング事業部に配属となり、当時の業務は地下を掘削してトンネルを造るシールド工事現場の担当がメインでした。シールド工法にはさまざまな用途があり、例えば東京湾アクアラインや東京外環道に代表される道路トンネル、地下鉄や新幹線の鉄道トンネル、共同溝や上下水道といったインフラが挙げられます。日本のような先進国は地上に構造物を作れないことが多いため地下化が進み、私が入社した80年代は地下工事がちょうど活況になってきた時期でした。そこで流体輸送については入社後に徹底的に学びました。地下の工事では地上の中央監視室から遠隔制御する作業が多く、振り返ると、今でこそよく聞き主流になっている「リモート」という発想を、当時から率先して行っていたのだと感じます。

「名古屋での駐在期間が長かったと伺っていますが、当時はどのような状況だったのでしょうか。」
当時はまだ社員が少なかったため、先輩社員が東京の大きな仕事、もう一人の先輩は首都圏の仕事を遂行、そこで私は首都圏以外、北は北海道から南は九州まで、一人で担当することとなりました。当時はまだ独身でフットワークが軽かったこともあり、全国津々浦々、さまざまな地域を見て回ることができ、とても勉強になりました。そして1986年に名古屋の地下鉄工事を受注することができ、計画から見積もりまで、営業とエンジニアを兼務しすべてで行いました。当社の方針として、自分で取った仕事は自分で最後まで見届けなさいというスタンスだったため、名古屋に常駐する形で業務を遂行しました。
地下鉄工事は、地下にまず機械を下ろさなければなりません。1〜2kmピッチで駅がある、その駅の開口部を使ってマシンを下ろしていく作業になります。地下の二階に中央管制室を作ってリモート作業をするのですが、その隣にコンテナハウスをもう一つ置いてもらいました。それが当時の私の駐在場所となり、寝泊まりはお客様のグループ会社の社員寮を提供いただきました。シールドの仕事は昼夜問わず行われます。常駐で担当者は私一人だったため、夜勤ももちろん二人で全部やっていました。すると、私が寮に帰るころには浴場のお湯が抜かれてしまっている時間。お風呂にも入れず、

KEY PERSON

に聞く

常務執行役員 レンサルティン[®]本部長

宗像 国義 *Kuniyoshi Kuniyoshi*

1982年AKTIOに入社。エンジニアリング事業部に所属し、全国のシールド現場を担当。国内では名古屋地下鉄桜通線、国外ではドーバー海峡横断トンネルなど次々と大きなプロジェクトに関わり、名古屋に駐在した15年間は1支店、10営業所、1工場を開設させた。専門性の高いエンジニアリング事業部の仕事と水中ポンプや発電機などの汎用性の高い一般的な建設機械レンタルの「二刀流」で数々の現場をリードし続けてきた実力を、2021年よりレンタルティン[®]本部長としてさらに発揮していく。

部屋に帰って寝るだけ。見かねた会社がアパートを借りてくれることとなり、そのアパートにコピー機と留守番電話を置き、それが名古屋の事務所第1号となりました。衣食住に「職」まで1カ所に。自分の性格は、誰にも見られていないと逆にサボることができず、いっそ張り切ってしまうタイプ。仕事が順調になって毎日現場に行かず済むようになると、地下鉄の現場でお世話になったお客様に紹介していただき、ゼネコン各社の機械部に営業に行くようになりました。機械部の方々と、エンジニアとして技術の話をし、それならこういった案件があるよと次々と他の仕事をいただけるようになりました。そしてやっと、名古屋市千種区今池に貸事務所を借りることができました。東京から1人社員が補充され、現地で1人採用し3人体制の「名古屋出張所」が始まりました。



ちやうどその同じ時期に、とても印象深い、記憶に残るプロジェクトがありました。ドーバー海峡横断トンネルです。イギリスとフランスをトンネルでつなぐ建設計画は、19世紀初頭、ナポレオン一世の時代からあったものでした。国防上の問題や技術面が追いつかなかったこともあり、幾度も失敗をしてきた「夢」のトンネルを、イギリス・フランス両国が合意し1986年に調印式が行われ、ついに実現されることに。日本の重工業会社から依頼があり、私たちも参加させてもらえることになったのです。お客様と流体輸送設備の計画を開始し、掘削総延長49.2kmの内、T4サービストンネルφ5.59m、T5本線トンネルφ8.62mが1990年に貫通しました。このドーバー海峡横断トンネルは、日本のシールド技術を世界に誇る金字塔ともいえる仕事だったと思っています。



会社が自由に仕事をさせてくれるおかげで、深く心に残る案件に数多く関わらせてもらうことができました。名古屋常駐当初は「名古屋の案件だけでは少ない、シールド工法の仕事はそこまですべてあるわけではない」と危機感を持って業務にあたり、西日本の現場にはすべて自分でも営業に向かい、時には九州までライトバンで行っていました。少しでも多く、いい仕事を取りたい。そんな思いで、仕事道具を全部車に積みこみ、営業とアフターケアを行いました。

1988年、小牧市に倉庫を借りることとなり、事務所とヤードを持つことができました。そして水中ポンプや発電機などの汎用性の高い一般的な建設機械レンタルとトンネル工事など専門的な技術や機械を要するエンジニアリング事業部の仕事を両立してやっていくこととなり、たくさんの社員、たくさんの建設機械を受け入れながら汎用性の高い一般的な建設機械の勉強も急ピッチで進める、エキサイティングな日々がスタートしました。ここは名古屋支店であり、エンジニアリング事業部名古屋営業所であり、私の仕事はトンネル工事など専門性の高いエンジニアリング事業部の仕事と汎用性の高い一般的な建設機械レンタルの二刀流。さらにこれまでやったことがなかった採用にも携わり、求人活動も積極的に行っていきました。

「お一人でのスタートからそれだけの営業所等の開設、すごい成果ですね。その他、

印象に残っている案件はこういったものでしょうか。

振り返って、本当に大変だったなと思うのは、2011年東日本大震災のことです。当社は岩沼市と防災協定を結んでいたのですが、すぐに通行許可をもらい全面通行止めだった東北自動車道を走り、供給物資を運びました。とにかく、一刻も早く仲間のもとへ。地震から3日後の月曜日に現地に到着しましたが、避難命令は解除されていませんでした。当社の仙台工場も2m50cm、完全に水没してしまっていてそれはショックな光景でした。車はひっくり返り、何もかも、見るものすべてが大変な状態で…。仲間の安全確認を行い、仙台に自宅を持っていた社員の厚意で、そこに滞在させてもらい復旧活動に尽力しました。米軍の協力で仙台空港が1カ月で離着陸できるようになったと同時に、私たちも全国各地の応援をもらって、仙台工場を再稼働させることができました。そこで一度東京へ戻ったのですが、すぐに福島第一原発原子炉建屋1号機の復旧を担当した建設会社の方から、原発の復旧活動に従事する作業員の方々の休憩室を作してほしい、との相談を受けました。そこで当社が1000人規模の休憩室を製作することとなりました。佐野テクノパーク統括工場で作成モックアップ試運転を行い、一度解体して車に載せ、福島第一原発へと運びます。そこでお客様から「中で組み立てる人員がいらない」と言われました。自分たちで設計した休憩室ですから、我々がやるべきだと感じま

した。私は構わないのですが、危険を伴う作業に、仲間に来てもらって良いのだろうかという思いがあり、社内で検討することとなりました。言い出しにくいこちらの気持ちとは対照的に、世の中の役に立ちたい」と有志の多くが手を挙げてくれ、現地での作業をすべて当社で行うことが決定しました。

設置場所は地面からの放射線を弱めるために敷き鉄板を敷き詰めており、それが直射日光で焼けて連日外気温40℃を超え、空間線量が数百μSv/hと高い中、防護服に身を包んで作業を行いました。サウナどころではない、灼熱の状態。その間に別のお客様からも依頼があり、合計3カ所の休憩室を納入しました。これまでの仕事の中で一番、生きがいを感じた案件でした。大変危険だということも承知でしたが、AKTIOのDNAと仲間の強い絆を改めて感じたのです。危険なのに、一緒に



危険を伴う作業でも、家族は「こういう人だから」と諦めてくれています。笑。

に行く」と言ってくれる仲間がいる、これには感動しました。

「すごい団結力ですね。宗像常務は社内だけでなく、グループ会社との連携も率先して行っていると思いますが、特に今力を入れていることなどはありますか。

エンジニアリング事業部には既製品で応えられない依頼が多く、PB製品を数多く生み出しています。多様化するニーズに今後はさらなるPB製品が求められるでしょう。グループ会社の岐阜工業はトンネル覆工用のセメントルといわれる型枠の国内トップメーカーです。かなりニッチな分野ですが、鉄物の製造が得意で、ゼネコン大型現場のセメントル受注シェアは80%です。ただ私は、その、すでに多くを持っているシェア

だけに魅力を感じているわけではなく、エンジニアリング事業部で設計した製品を「岐阜工業でなら作れる、できる」という点に惹かれたのです。そして、エンジニアリング事業部と岐阜工業は、セメントルの全自動化を測量変位計測と遠隔自動制御で実現しています。

世にないものを生み出すスキルを磨くには、専門性の高いグループ会社と共に、協力し合って開発するのが近道。お客様の要望をどう受け止めていくか、そしてどう具現化していくか。同業他社が追従できない付加価値を、レンサルティング本部と岐阜工業、桜川ポンプ製作所、最近グループに加わり測量機に特化したリンクのグループシナジーで実現します。

「今後のグループ会社との事業の広がりが楽しみです。最後に、宗像常務がこれからやっていきたいことについてお聞かせください。

提案から設計・レンタル・アフターサービスまでをワンストップで提供できるレンサルティング®を広めていきたいと考えています。レンサルティング本部は道路機械事業部、鉄道事業部、パワーステム事業部、IoT事業推進部、そこにエンジニアリング事業部が編入して、5部門が合体したものの。それぞれ分野が違う、縦割りの中でいかに総合力、つながりを見出していかか。ある意味接着剤のような役割を果たすのが、グループ会社との共同開発であったり、これまでの事業に新しい発想での取り組み

を加えていくことだと思っています。

コロナ禍でリモートという言葉が定着しました。今後はすべての製品のIoT化が必須。ICT施工、i-constructionを国が推進しており、ますます建機の自動化が進んでいきます。商品の開発は元より、カスタマーサービスが顧客満足に直結します。技術者の育成が急務であると考えます。これから自動化が進んでいけばいくほど、全国に自動化の機械のアフターサービスができる人材を配置していかなければ、広がらないです。広がった後に対応できないことになります。人材教育をスピーディーに行い、提案からアフターサービスまでお客様に寄り添い、かつ社会に貢献する新たな挑戦をし続けていけたらと思っています。



過去最大規模の出展社数で開催！

建設・測量生産性向上展 CSPI-EXPO

2021年5月12日から14日の3日間、幕張メッセ(千葉市美浜区)にて第3回建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO2021)が行われた。

デジタルトランスフォーメーション(DX)が進む建設業界の最前線を紹介する場として、285社約1,400ものブースが出展。

過去最大規模の出展社数で開催となり、AKTIOブースへの来場者は3日間で合計5,662名となった。

また、今回は初の試みであるライブ生中継も実施。

AKTIOの最先端のICT対応機器を、来場することができないお客様にも広く紹介することができた。

ライブ放送は
こちらのQRコードから

第1部



第2部



業界の未来を牽引する、AKTIOの技術の数々。

Safety Training System VR of AKTIO 高速道路安全教育VR

高画質5K解像度のスーパーリアル映像で、不安全行動をリアルに体感することが出来るAKTIO独自のVR安全教育システム。今回は高速道路に特化した事故シナリオを体験できるエリアを設けた。あまりのリアルさに転倒してしまう危険があるため、歩行用デバイスを着用し、省スペースかつ安全を確保。体験した人からは想像以上にリアルで驚いたなどの声が上がった。
*P08に詳しく紹介しています。



体験風景

5Gを使わない重機の遠隔操作

会場までひときわ注目を集めた無人重機の遠隔操作。会場から100kmも離れた栃木県佐野テクノパーク統合工場内のバックホーを、5Gを使わず専用の通信回線を利用しリモコン操作できる。実際に操作する様子を見た来場者からは、タイムラグを感じないなどといった声が上がった。災害現場などは重機に乗って作業することが二次災害につながることも。現場に行かず遠隔操作ができれば安全が確保でき、移動時間もかからないため、働き方改革にもつながると期待されている。



操作風景

オフグリッドシリーズ

● オフグリッドハウス

太陽光パネルと蓄電システムを搭載したユニットハウスのオフグリッドハウス。太陽光自然エネルギーを利用し、室内の照明やエアコン、電源などを独立稼働させることが可能。また、ハウスがパネル方式のため、入口・窓の位置のレイアウトや連棟仕様によるスペースの拡張など、お客様の要望に合わせて自由に設計が可能。



※展示会仕様のため、全面ガラス張り対応

● オフグリッドオフィスカー

ソーラーパネルとリチウムバッテリーで独立稼働できるエンジンをおフにしてもクーラー、FFヒーターが使用可能。ポップアップルーフで室内で立ったまま着替えもでき、感染症対策で現場事務所とは別に作業のできる事務所が必要なお客様に好評だ。



● オフグリッドバス

トイレ付きで広さもあるオフグリッドバス。仮設ハウスやトイレを設置できない場所、高速道路上で移動もできる利便性が注目のポイント。最大4名就寝可能で、夏季は熱中症対策、冬季は氷雪作業員の仮眠・休憩所の確保として利用可能。



スカイジャスター

狭小スペースでの吊荷回転制御ができ、安全性と効率アップが期待できる装置。高層などの強風の現場を始め、風の影響を受けやすい吊荷の安定に評価が高く、挟まれ災害や墜落リスクを低減することが可能だ。



※スカイジャスターの模型を展示

冷えるくむ2

現場やイベントなど、使用用途・使用場所を問わず、どこでも誰でも簡単に設置可能な休憩所。クーラーは1.5馬力の循環式を採用し、排出した涼しい空気を循環させる。冷えた室内の空気を吸い込みさらに涼しい空気を室内に排出することで効率よく冷やしていく。また、オフショーンで横幕の間に「空気層」を作ることによって外部からの熱の影響をさらに軽減可能。



ジラフ

ガラスやパネルなどの重量物を運搬しそのまま窓枠や壁面にはめ込むことができる、設置工事で使用するための自走式マニピュレータ。より安全に、より簡単に短時間で工事を可能にするため、実際の動きを見てみたいという来場者に好評であった。



空気清浄機 あまつかぜ

電気集じん方式でウィルスや微粒子を吸引・抑制する空気清浄機。内部の金属極板にウィルスを吸着させ、紫外線UV-Cを照射することでウィルスを抑制する。また、くしゃみ、せきなどの湿ったミストやタバコの煙を吸引してもフィルター式のように目詰まりを起こすことがない。66畳の室内を約30分で浄化可能。



ブレード3Dマシンコントロール バックホー

掘る、吊る、ならす、3つの作業が一台でできる多機能なバックホー。3D設計データを設定してしまえば熟練作業者でなくても敷均し作業で精度の高い作業が可能となる。誤差が1mm、2mmという正確さに、来場者からも「使ってみたい」との声が多数上がった。大きさも3.5tと小さく、あらゆる場所ですべてのことが出来る。AKTIOは、ICT建機の使い方だけでなくセミナーなど、i-Constructionのノウハウまで一緒に提供できるのが魅力だ。



体表面温度計測プラス顔認証 通門管理システム

サーマルカメラと顔認証ゲートを組み合わせ現場の入退場を管理するシステム。顔を登録して入力するだけで一元管理が可能となる。グリーンサイト、建設キャリアアップシステムなど、他システムとの連動も他社製品とは違うポイント。作業員数が多い現場で好評だ。



非常用電源切替盤

停電や電力不足が起これば、としても緊急性がない設備・機器には、自動電源切替盤に比べ、省スペース・軽量・廉価・設置しやすい・操作しやすい・電源状態のわかりやすいからおすすめな「非常用電源切替盤」。既存設備に後付けするから導入でき、もしもの時の復旧作業がスムーズになる。

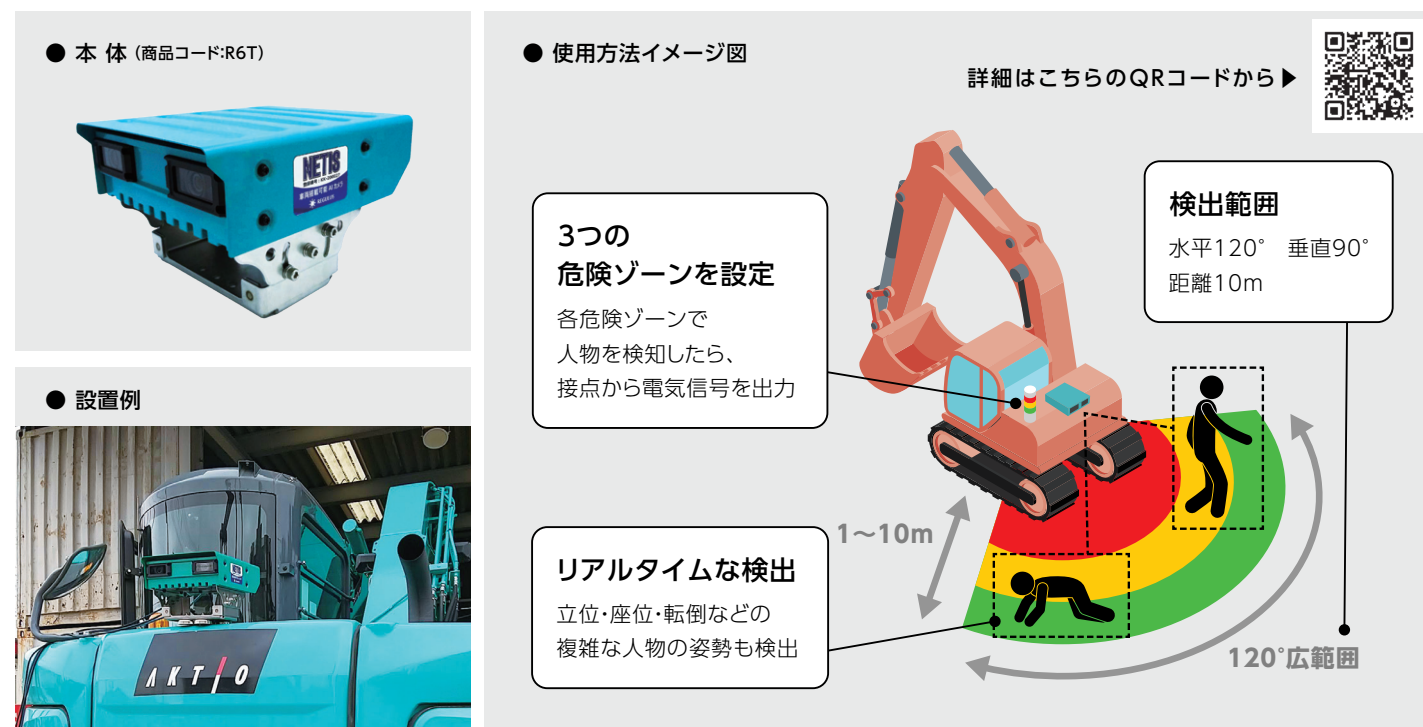


AKTIO TOPICS. 3

目視では確認しづらい危険を検知。

車両搭載可能な安全監視AIカメラ「EagleEye® II」

「EagleEye® II」は、検知する人までの距離を測定し、設定した危険エリアに応じて、光や音で危険を知らせる「AIカメラ」。目視では確認しづらい人がしゃがんだ状態の検知や、バイクや自転車に乗っている人の検知、夜間の人物検知など、さまざまな状況での検知が可能。設定したエリアに人がいることを検知すると、段階的に緑、黄色、赤の3つのランプが光り、最も近い赤ランプのエリアでは光とともに警報音を発し危険を知らせる。

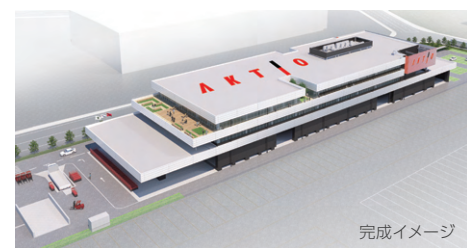


AKTIO TOPICS. 4

大阪DLセンター 広島テクノパーク統括工場 竣工のお知らせ

大阪DLセンター

大阪DLセンターは、関西物流の拠点として、また万博会場まで5分という立地を活かし、万博・IRの現場攻略に向けた営業拠点として誕生した。AKTIOが推進してきたICT・IoT技術を駆使した建設DXの具現化に向けて、そして将来の研究開発に対応できるラボスペースも完備し、多種多様なお客様のニーズに応えるべく充実したサービスを提供していく。



■住所
大阪府大阪市住之江区
南港北2-2-102

■敷地面積
17,160㎡

■建築面積
5,443㎡

■竣工日
2021年9月10日

広島テクノパーク統括工場

中四国地区のほぼ中心に位置する広島テクノパーク統括工場は、この地区の物流拠点、整備拠点として開設された。省人化、省力化を図るとともに他のテクノパーク工場・DLセンターとの機械運用効率の向上、災害時の緊急対応拠点としても活躍が期待されている。ICT施工講習会などが可能なトレーニングフィールド、新商品を体験できるロボティクスエリアを備え、お客様によりよいサービスを提供していく。



■住所
広島県東広島市
河内町入野1296-3

■敷地面積
58,866.11㎡

■建築面積
8,300㎡

■竣工日
2021年9月16日

AKTIO TOPICS. 2

建設現場の人命を守るため、「いざというとき」を体験して学ぶ!

安全教育システム「Safety Training System VR of AKTIO」に 高速道路安全教育編が登場!

建設業におけるICTやIoTを活用した安全教育に積極的に取り組んでいるAKTIOは、高画質5K解像度のスーパーリアル映像で事故現場をリアルに再現、不安全行動を体感できる安全教育システム「Safety Training System VR of AKTIO」をレンタルしている。2021年5月10日からは新たに「高速道路安全教育VR」がレンタル開始となった。今回は事故シナリオとして「車線規制編」「高所作業車落下編」「ユニック作業編」「重機挟まれ編」「草刈り危険行動編」の5つのVR映像を開発。このシステムにより、作業員の人命を守るため一層効率的で効果的な安全教育の提供が可能となった。



走行車両が「とまるくん」、「防護車」にぶつかる状況を「監視者」「作業者」「交通誘導員」の目線で体験できる。



トンネル内作業中の高所作業車からの転落事故を墜落制止用器具を装着「している場合」と「していない場合」で体験できる。



高速道路上でのユニック車の転倒事故を「玉掛け」「クレーン操作者」「荷受者」の目線で体験できる。



法面崩壊の現場にてバックホーによる「接触事故」および「挟まれ事故」を体験できる。



草刈り作業中に発生しうる「キックバックによる接触(加害)」「キックバックによる接触(被害)」「法面からの転倒」「巻き込み物の除去」「ケーブル切断」の5パターンの事故を体験できる。



VR向けトレッドミルシミュレーター「Virtuix Omni」を使用することで、省スペースかつ体験中の転倒を防止。

VR機器構成



※VR機器はセット(歩行型VRデバイス/VRヘッドマウント/コントローラー/ベースステーション/モーションコントローラー/ノートPC)でのレンタルとなります。

商品の詳細はこちらのQRコードから▶



AKTIO TOPICS. 5

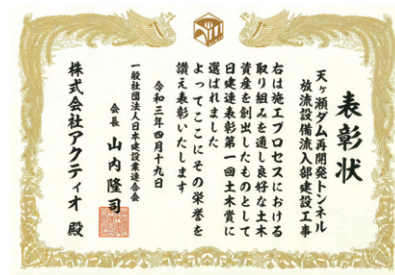
日建連表彰第1回土木賞を受賞！

一般社団法人日本建設業連合会（以下、日建連）が設立した新しい表彰制度「第1回土木賞」。優良なプロジェクト・構造物を表彰し、広く内外に紹介することにより、土木に関わる事業企画の質および計画・設計、施工、環境、維持管理、その他土木技術の進歩向上を期待し設立された賞で、その記念すべき第1回目に「天ヶ瀬ダム再開発トンネル放流設備流入部建設工事」が選ばれた。施工者の大成建設とともに工費削減、工期短縮に貢献したことを評価された受賞である。

工事名	天ヶ瀬ダム再開発 トンネル放流設備流入部建設工事
所在地	京都府宇治市
発注者	近畿地方整備局
設計者	ニュージェック
施工者	大成建設
関係者	極東建設 アクティオ オカモト・コンストラクション・システム
着工日	2013年3月15日
竣工日	2019年3月29日



左から清水大成建設土木技術部長、AKTIO三浦常務執行役員、古堅極東建設役員、水野大成建設天ヶ瀬作業所所長。



AKTIO TOPICS. 6

レンサルティングマガジンの会員化がスタート！

業界のトレンドがわかると好評を博していたAKTIOの情報サイト「レンサルティングマガジン」がさらに進化し、会員化することとなった。建設業界の今後がわかる「撮りおろし動画」、仕事力アップに役立つ「スペシャル記事」、建設業界の「データリンク集」や基礎知識をブラッシュアップできる「学習ドリル」などのコンテンツを会員限定で公開している。会員登録は無料のため、この機会に登録することをおすすめしたい。

会員登録は
こちらから

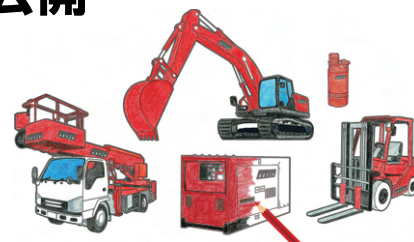


AKTIO ACTIVITIES

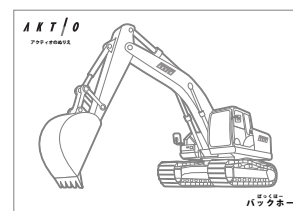
AKTIOが賛同するさまざまなプロジェクトや社会貢献活動を紹介していきます。

「みんなでやってみよう！ アクティオのぬりえ」を公開

AKTIOはコーポレートサイトにてさまざまな建設機械の「ぬりえ」を掲載している。未来の仲間となるかもしれない子どもたちに、建設機械の種類の多さ、かっこよさをぜひ知ってもらおうと考案したもの。今後も新しいデザインを更新する予定だ。



「ぬりえ」は
こちらのQRコードから



AKTIO ACTIVITIES

AKTIOが賛同するさまざまなプロジェクトや社会貢献活動を紹介していきます。

近隣小学生向け「工場見学会」

2021年6月1日、佐野テクノパーク統括工場にて、みかも小学校の児童25名（引率の教員3名）を招いての工場見学会が開催された。バックホーや高所作業車の搭乗体験などもあり、子どもたちは初めて触れる建設機械に興味津々で、楽しんでいる様子だった。工場見学会終了後はAKTIO社員への質問が飛び交い、充実した会となった。AKTIOは今後も見学会を継続し、たくさんのお子どもたちに建設機械に関する仕事を知ってもらいたいと考えている。

*工場見学会は感染症対策を行い実施しています。



バックホー搭乗風景



高所作業車搭乗風景

AKTIO ACTIVITIES

AKTIOが賛同するさまざまなプロジェクトや社会貢献活動を紹介していきます。

「SDGs for School」の活動を応援！

国連、大学、企業、NPOなどとパートナーシップを組み合わせながら、持続可能な社会創生のために、創造的な教育や行動を推進する先生と生徒を応援するプロジェクト「SDGs for School」。SDGsを題材とした教育コンテンツ（書籍・映像・カリキュラム）を全国の学校に届けるほか、子どもたちが「問題の現場」となるフィールドで学ぶツアー型授業、子どもたちの活動発表の場、教員や企業・自治体向けの研修プログラムなども提供している。

AKTIOは、SDGsの目標4に掲げられている「質の高い教育をみんなに」、また、目標17の「パートナーシップで目標を達成しよう」の実現に向け一般社団法人 Think the Earthが運営する「SDGs for School」を支援していく。



2021年5月、希望する学校300校に教材を寄贈。



<https://www.thinktheearth.net/sdgs/>

AKTIOのSDGsへの
取り組みを詳しく見る





今日も
ごあんぜんに
みんなで守る、みんなの安全

+ 今回のテーマ

建設業の
安全衛生対策の
推進について

新型コロナウイルス
感染予防対策
ガイドラインの
おさらい

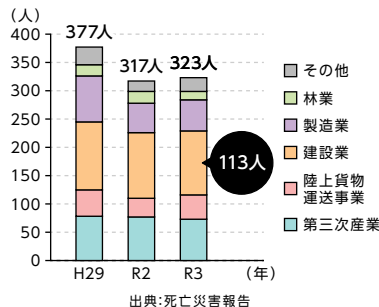
安全確保のための対策を 今一度、見直しましょう

厚生労働省が2021年3月30日に発表した

「令和3年度における建設業の安全衛生対策の推進について」によると、建設業における死亡災害発生状況は、2020年の死亡者数（2021年3月8日速報）が過去最少であった前年より7人減少し253人であるものの、全産業の死亡者数776人のうち32.6%を占めており、死亡災害発生状況を業種別に見ると、依然として建設業の占める割合が高い水準にあると示されています。また、2021年7月の労働災害発生速報値で見ても、死亡災害数は建設業が最も多く113人、原因は墜落・転落が89.28%を占めています。ここでは改めて、重大な労働災害につながる「墜落・転落」の予防ポイントを確認していきましょう。

令和3年労働災害発生状況（7月速報値）

死亡災害 323人、前年同期比 +1.9%



*平成29年は第13次労働災害防止計画（平成30年度～令和4年度）の基準年であるため、比較のため数値を記載している。

ポイント1 足場等からの墜落・転落防止対策

- 墜落防止用保護具について、原則としてフルハーネス型とし、墜落時の落下距離に応じた適切な保護具の使用の徹底
- 解体工事における安全対策について検討
- 長時間労働の縮減も含めた労働災害防止対策の徹底
- 自然災害に被災した地域の復旧・復興工事において労働災害防止対策の徹底
- 建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画に基づく取組施策の着実かつ計画的な実施



ポイント2 はしご等からの墜落・転落防止対策

厚生労働省のリーフレット「はしごを使う前に／脚立を使う前に」を活用した墜落・転落災害防止の徹底を！

- はしご、脚立の使用を決める前に墜落の危険性の低い手すり付き脚立等の代替設備への使用検討、次に、はしご、脚立の使用は「安全使用」とすることを確実に守る
- 墜落・転落災害防止対策を講じる。特に「墜落制止用器具」の使用の徹底を図る
- はしご・脚立の使用時は保護用ヘルメットを着用する



！ 新型コロナウイルス

感染予防対策ガイドラインのおさらい

安全衛生対策と合わせて、今一度新型コロナウイルス感染予防対策も注意すべきポイントをチェック。

関わるすべての人が安心して働ける環境づくりを徹底しましょう。



3密を回避！

- ① 定期的な換気（打ち合わせ時、作業時、休憩時、車内など）
- ② 換気設備の点検実施
- ③ 人との距離は2m以上に保つ
- ④ 休憩時間をずらして、室内の密度を下げる
- ⑤ 会議や打ち合わせ内容の見直し（要点をまとめて手短に、人数調整を行う）

衛生管理の徹底！

- ① 手洗い、うがい、マスク着用の励行
- ② 現場入場前の検温
- ③ アルコール消毒液の設置と不特定多数が触る箇所の定期的な消毒
- ④ 作業従事者の健康状態を把握
- ⑤ 基本的な生活習慣の指導（喫煙、暴飲暴食、睡眠不足などの見直し）

報告、連絡体制を万全に！

- ① 連絡体制の整備（指揮系統の確立、報告の義務化など）
- ② 発注者との円滑なコミュニケーションを心がける
- ③ IT機器の活用（WEB会議など対面を回避）
- ④ 保健福祉事務所など、管轄の公的相談窓口の把握

編集後記

私は小さい頃、父とよくキャッチボールやバッティング練習をしていたので、中学時代はソフトボール部に所属。ショートのポジションにつきたかったのですが、練習中に取り損めた球が目にあたり、ボール模様のアザになってしまいました。それ以来、パウンドする高めのゴロを取るのが怖くなり、外野のセンターを守ることに。先にセンターのポジションを守っていた先輩がいたのですが、その先輩がちょっと恐い感じの人で、何を話したらいいかも分からず、数か月気まずい雰囲気でした。でも私は先輩と仲良くなりました。早く先輩のように上手くなりました。ごちそうなのにながらに話しかけたり、朝や

部活動終わりに自主練を続けていました。すると、その姿を見てくれていた先輩から徐々に話しかけてくれるようになり、可愛がって貰えるようになりました。そして、先輩が引退する時には「センターは任せよう」という言葉を頂き、とても嬉しかったことを今でもよく覚えています。この経験を通じて、努力や頑張りには必ず誰かが見てくれているから日々怠ってはいけないということ、よりよい人間関係を築くには時間がかかる場合もあるため、粘り強く諦めないという2つのことを学びました。これからも人との繋がりを大切にしていきたいと思っています。

広報部 成澤



今号の表紙写真

より質の高い提案をしていくため、さまざまな取り組みを実現し躍進を続けるレンサルティング本部。今号の表紙写真は、そんなレンサルティング本部が突き進む先に見える希望を、トンネルの向こう側に見える光で感じてもらいたいと考えました。今後のAKITOの取り組みにご注目ください。